

12/15～16 大学と**地元高校生**が交流講座

▶竹の伐採に悪戦苦闘!



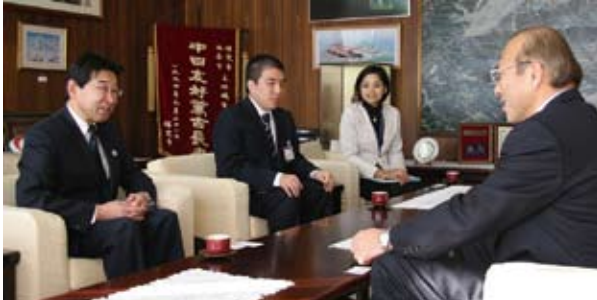
京都大学大学院地球環境学堂と市内高校生による交流講座が、石鎚ふれあいの里で開かれました。

大保木地区の暮らしや文化についての聞き取り調査、竹林の伐採ボランティア体験、また京都大学大学院の外国人留学生と活動をもにするなどして、参加した高校生にとっては見識を広げる絶好の機会となりました。



12/20 **JICA** ボランティア 市長を表敬訪問

▶成果を報告する松木さん(左端)と抱負を語った佐伯さん(その右隣)



青年海外協力隊員として、タンザニアで子どもたちに数学や物理を2年間指導する佐伯拓也さん(丹原町長野)と、メキシコで現地企業の経営管理指導を終えた松木昭二さん(河原津)が市役所を訪れ、自身の抱負や成果などを話してくれました。佐伯さん、体に気を付けて頑張ってください。松木さん、お疲れ様でした。

まちのわだい  
Camera Spot



12/23 スノーカーニバル in 石鎚

▶宝探しに熱中!



▶雪玉ダーツに挑戦



▶子どもたちは元氣そのものでした



当日は途中から風雪が強まるあいにくの天候となりましたが、石鎚ピクニック園地では千百人を超える来場者が、ソリ競争や雪玉ダーツ・宝探しなどの雪遊びを満喫。また、多くの賞品が用意された大抽選会では、当選番号が発表されるたびに会場のあちこちから大きな歓声が上がっていました。

寒風を突いて自分自身に**挑戦!** ~スタート前の緊張・レース中の苦しさ・ゴール後の充実感~

ちびっこ駅伝大会



耐寒マラソン大会



駅伝競走大会 (西条会場)



12月23日、ひうち陸上競技場付設コースで開催された「駅伝競走大会」では、市内外からの55チーム・363人のランナーが、そのプライドを1本のタスキに懸けて健脚を競いました。

また、1月6日には「耐寒マラソン大会」が同コースに690人のランナーが集い開催され、新春の張りつめた空気の中、日ごろの練習の成果を発揮して自己記録との孤独な戦いに挑んでいました。

さらに、1月13日にも「ちびっこ駅伝大会」がピバ・スポルティアSAIJOをスタート・中継・ゴール地点とする東予運動公園内の周回コースで行われ、途切れることのないチームの仲間や家族からの声援の中、小学生1,069人が熱いレースを展開しました。